

令和6年 第1回 北海道議会定例会〔一般質問〕開催状況

開催年月日 令和6年3月7日(木)  
 質問者 日本共産党 真下 紀子 議員  
 答弁者 知事

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p><b>四 防災対策等について</b>  <b>(一) 防災対策の見直しについて</b>                      阪神淡路大震災以降、東日本大震災、胆振東部地震、今年元旦の能登半島地震など、大地震が連続して起きています。建物や道路の崩壊による孤立、災害関連死、多数の救出など、これまでに起きた被害の課題を総ざらいして、巨大災害時の道の役割、避難、被災者への支援対策、避難訓練の内容を改めて検討、また、スフィア基準を参考にした避難所運営など、課題解決と改善に向けた地域防災計画見直しのスケジュールを示し、方針の決定を早急に図るべきではありませんか。また、避難経路が寸断したことなどを想定した、厳しい状況下での避難訓練を行うべきではありませんか。併せて伺います。</p>	<p><b>(知事)</b>                      今後の防災対策についてであります。このたびの能登半島地震では、インフラやライフラインに甚大な被害が発生をしており、いつ起こるかわからない大規模災害の備えとして、ハード・ソフト両面における対策を着実に推進していくことが重要であると改めて認識したところでございます。過去に発生した阪神淡路大震災や東日本大震災などにつきましては、国において検証がなされ、防災基本計画などについて必要な修正が行われているところであります。                      また、胆振東部地震につきましては、道が防災対策基本条例に基づく検証を行い、防災・減災対策に関する課題と改善策を明らかにしたところであり、道の地域防災計画については、これら国の計画修正や道独自の検証結果を踏まえ、適時に見直しを行ってきているところであります。                      道では、このたびの能登半島地震から得られる課題等を踏まえ、道の地域防災計画や避難所マニュアルなどについて点検し、国における検証作業も注視しつつ、必要な見直しを行っていくほか、来年度は、道路の損壊や厳冬期を想定した実践的な防災訓練・避難所運営・宿泊演習の実施をするなど、本道の地域防災力の向上に取り組んでまいります。</p>